



「KOMABA DAY」は月に一度実施している日で、世界で起こっている様々な問題に子どもたちが触れる機会を作っています。また、同日は募金箱も設置します。集まった募金は災害などの緊急支援や KOMABA の開校以来、その活動を応援し続けているトータルペインター・ミヤザキ ケンスケさんのプロジェクト OVER THE WALL に役立てられます。なお楽しみながらの活動を目指しているため、「KOMABA DAY」では講師は私服で授業をし、生徒は授業中の飲食を可としています。

歴史と主張と現在

中国と台湾の歴史

中国は台湾について、もともと中国の省だった歴史があるとしている。しかし、台湾人は同じ歴史を根拠に、自分たちは 1911 年の辛亥革命後に初めて建国された近代中国、あるいは 1949 年に毛沢東政権下で建国された中華人民共和国の一部だったことは、一度もないと主張している。

現在、台湾を主権国家として承認しているのは 13 カ国。中国は他国に対し、台湾を主権国家として承認しないよう、あるいは承認を示唆することがないよう、相当の外交圧力をかけている。(BCC News)

軍事演習の開始

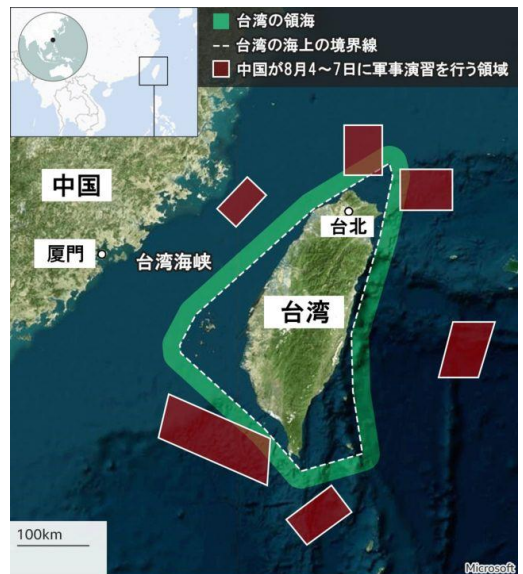
2 日から 3 日のアメリカのナンシー・ペロシ下院議長の台湾訪問を受け、中国は 4 日、台湾近海で過去最大の軍事演習を開始した。

中国軍は台湾の北東沖と南西沖の海域に、弾道ミサイルを複数発射した。併せて、台湾との貿易を一部遮断する措置も取っている。

台湾によると、中国の戦闘機 27 機がすでに、台湾が設定している防空識別圏に侵入したという。また岸信夫防衛相は同日夜、日本の排他的経済水域 (EEZ) 内に 5 発が落ちたもようだと明らかにした。中国の弾道ミサイルの EEZ 内落下は初めてだという。



台湾の対岸に位置する平潭島付近を飛行する中国軍のヘリコプター



出典：中国メディアの報道、マリーナー・リージョンズ

中国は 3 日、「必要かつ正当な」軍事演習を 4 日から 7 日まで実施すると発表した。画像は中国が台湾を取り囲むように軍事演習を行うと発表した区域

ロシアのウクライナ侵攻が開始されたときの衝撃がまだ記憶に新しく、そして現在も収束していない中でまた新たに軍事演習が始まりました。中学校や高校で中国と台湾の歴史について学びますし、日本に住んでいたら隣の国のニュースは耳にします。中国や台湾は旅行などで行ったことがある人も多いのではないのでしょうか。そんな近い場所でこれが今起こっていることだと考えると恐ろしくてなりません。原因は？きっかけは？何のために？誰のために？これからたくさんのニュースがたくさんの人々の言葉で届くことになるでしょう。誰の立場になって考えるべきなのか、誰かの考えを鵜呑みにしていないか、自分でしっかり考えることを忘れないでください。(西出)